

各 位

2026 年 10 月 5 日
株式会社インプレス

**全文無料公開！ 新刊『そのまま使える AI×ネット広告』を登録不要で今すぐ読める、3
日間限定のキャンペーンを 10 月 5 日（月）より実施**

インプレスグループでIT・デザイン関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、新刊『そのまま使えるAI×ネット広告（実務特化型AI活用シリーズ）』（発売：2026年9月15日）の全文を無料公開するキャンペーンを、10月5日（月）から7日（水）までの3日間限定で実施します。



<『そのまま使えるAI×ネット広告』書籍情報ページ>

<https://book.impress.co.jp/books/1125101171>

※全文無料公開キャンペーンの対象期間：2026年10月5日（月）～7日（水）

※ページ内のリンクより、全文無料公開のビューアーにアクセスできます

■広告運用の現場ですぐにマネできるAI思考法とプロンプトを凝縮

近年、企業の生成AI導入が進む一方で「実務の成果（コンバージョンの増加や獲得単価の改善）につながらない」という現場の課題が顕著になっています。

本書は、BtoBマーケティングや広告運用のプロである著者陣が、広告運用の現場ですぐに使えるAIの思考法やプロンプトを解説した書籍です。戦略設計から画像生成AI「GPT Image 2」を活用したバナー・動画広告制作、検索広告運用まで、現場で活用できるワークフローと実証済みプロンプトを余すことなく掲載しています。

こうした実務直結の具体策をより多くの方に体験いただくため、本書の全文無料公開キャンペーンを実施いたします。

■会員登録は不要、スマートフォンでもすぐに閲覧できる

書籍内容の提供には、自社開発の「インプレスWebブックビューアー」を使用します。Webブラウザーで紙面を閲覧できるので、場所や時間を選ばずにPCやスマートフォンなどから登録不要で利用できます。また、SNSで書籍の情報を共有したり、書籍の購入や詳細を確認したりできる機能も備えています。

Method
01

**時間の革命がすべてを変える！
AI活用の現在地**

制作工程の7割を自動化し、獲得単価を半減

**AIはもう「ガチャ」じゃない。
30秒で成果を出すクリエイティブの現在地**

突然ですが、クイズです。以下のバナー広告を見てください。

異なる訴求軸で制作されたバナー広告の例



これらのバナーは誰が作ったものだと思いますか？ 社内のデザイナー？ 外注先の制作会社？ 実は、すべてAIが生成したものです。広告運用担当者がAIに指示を出し、1枚当たり約30秒で作っています。実際に広告として配信してみると、AI生成のクリエイティブが実務で十分に通用する成果を出すケースが続出しました。

かつてのAI画像生成は、正直なところ「ガチャ」でした。10枚生成して使えるのは1〜2枚。日本語は文字化けし、人物の指の数もおかしいなど、「まだまだだな」という印象を持った人も多いのではないのでしょうか。しかし、2025年後半から状況は一変しました。日本語テキストを正確に描けるようになり、画像のクオリティも実務レベルに到達。1枚当たり数十円のコストで、何十パターンものバリエーションを瞬時に生成できるようになりました。

もちろん、AIに「バナーを作って」とひと言投げただけではありません。事前に競合をリサーチし、ターゲットに刺さりそうな訴求軸を整理し、自社の強みなどの「前提」をAIに渡しで指示を出しています。AIが仕上げる前に、人間とAIが協働して「何を・誰に・どう伝えるか」を考えるプロセスがある。この「考えるプロセス」こそが成果を左右します。では、実際にどんな成果が出たのかを、筆者の実務から紹介します。

制作工程の約7割をAIで生成し、獲得単価が半減

ある人材系サービスの広告運用では、戦略設計・リサーチ・台本・動画素材まで、制作工程の約7割をAIと人間で協働するワークフローに切り替えました。人間が担当するのは、事業理解に基づくディレクションと最終的な品質チェック。「0→80点はAI、80→100点は人間」という役割分担です。

結果、従来の手法と比較して、獲得単価が約50%改善しました。この改善はその後も安定して推移し、予算を拡大しています。工数が減って成果も出る、この再現性にいちばん可能性を感じました。ここで正直に言っておきたいのですが、AIのクリエイティブが人間のプロを超えたわけではありません。獲得単価が半減した要因は、2つの構造的な話によるものです。

1つ目は、仮説検証のスピードと精度が同時に上がったことです。従来、バナーを1パターン作るのにデザイナーへの発注から納品まで数日かかっていました。それがAIなら、訴求軸や切り口の仮説を1日に何パターンもテストできます。精度の高い仮説を高速で回せるため、早い段階で「勝ちパターン」に出会えるようになりました。

2つ目は、制作のボトルネックが解消されたことで、本来やるべきだった仕事に時間を使えるようになったことです。以前は制作待ちや細かなディレクションに時間を取られていましたが、AIがその制約を取り払ってくれました。

AIの本質的な価値は、クリエイティブの質や量ではなく、仮説検証の質とスピードが同時に上がること。そして浮いた時間で、人間にしかできない泥臭い仕事に取り組めるようになることです。この2つの構造的変化が、成果





12 / 255

一覧に戻る

書籍の内容は Web ブラウザーで閲覧できます。

<『そのまま使えるAI×ネット広告』書籍情報ページ>

<https://book.impress.co.jp/books/1125101171>

※全文無料公開キャンペーンの対象期間：2026年10月5日（月）～7日（水）

※ページ内のリンクより、全文無料公開のビューアーにアクセスできます

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ 会社で生成AIが導入されたが、一般論的な回答しか得られず成果につながらないマーケター
- ・ 日々の広告運用やバナー・動画クリエイティブ制作の効率化と品質向上を目指す担当者
- ・ リソース不足に悩みながらも、高い成果責任を負っているマーケティングリーダー
- ・ AI時代に取り残されることに焦りを持ち、現場で即使える最短ルートのスキルを身につけたい方

■書誌情報



書名：そのまま使えるAI×ネット広告（実務特化型AI活用シリーズ）
著者：二平燎平・鴻上善彦・関 大二郎
発売日：2026年9月15日（火）
ページ数：256ページ
サイズ：A5判
定価：2,420円（本体2,200円＋税10%）
電子版価格：2,420円（本体2,200円＋税10%）※インプレス直販価格
ISBN：978-4-295-02485-9

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295024856/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101171>

◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/502485.jpg>

■本書の構成

CHAPTER 01：前提知識 確率空間の限定から始まるAI活用の原理
CHAPTER 02：戦略設計 発散と収束で磨き上げる顧客起点の勝ち筋
CHAPTER 03：バナー広告 「作れる」から「勝てる」へ変える制作の型
CHAPTER 04：動画広告 冒頭5秒から仕掛ける勝ちパターンの量産
CHAPTER 05：検索広告 AI部下と回す設計・制作・改善のループ

■著者プロフィール

二平燎平（にへい りょうへい）
アナグラム株式会社 運用型広告事業部マネージャー

BtoBを中心に、数十社以上の広告運用やコンサルティングを手がけるプレイングマネージャー。前職において中小企業向けERPのセールスやCS、マーケティングなど「The Model」の全工程に従事した経験を持ち、それに運用型広告の知見を組み合わせた、売上を伸ばすためのBtoBマーケティングのコンサルティングに定評がある。著書に『BtoBマーケティング“打ち手”大全 広告運用で受注を勝ち取る 最強の戦略 88』（インプレス）。

鴻上善彦（こうかみ よしひこ）
株式会社Icra 代表取締役

マーケティング思考の体系化・言語化を軸に、企業のマーケティング支援を行う。顧客理解から戦略設計、コミュニケーション設計までを一貫した思考体系として整理し、研修プログラム、マーケティングAIシステムの開発・導入支援、戦略コンサルティングを展開。属人的になりがちなマーケティングの知見を、組織で再現できる共通言語と仕組みに変えることを得意としている。

関 大二郎（せき だいじろう）
アナグラム株式会社 クリエイティブチーム チームリーダー

前職のゲームアプリ会社にてプロモーション全般に従事した後、2017年にアナグラムに参画。多数のクライアントのアカウント運用を担当し、広告運用とクリエイティブ制作の両面で経験を積む。その後、クリエイティブチームの立ち上げに参画し、現在はチームリーダーとしてマネジメントと動画広告のディレクション・制作を担う。広告運用の知見とクリエイティブ制作スキルを掛け合わせた、成果につながるクリエイティブ提案を強みとしている。

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、デザイン・グラフィック関連の書籍ブランド「MdN」、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT・デザイン関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>